会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 平成３０年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回事業推進委員会 |
| 開催日時 | 2018年11月7日 15時〜17時 |
| 場所 | 中野サンプラザ　6F バード |
| 出席者 | 委員：大城圭永、岡村慎一、植上一希、佐藤昭宏、福田稔、山根大介、高岡信吾、泉田優  請負業者：飯塚正成 |
| 議題等 | ①学習評価研修プログラム開発について（植上、佐藤）  ・プロトタイプ研修の対象は、現在視察に入っている3校の新人から中堅層の専任教員を対象として実施する。なお、参加したい旨の要望があった場合には受け入れる。  ・研修日程等は、12月～1月にかけて、3時間程度を予定  【プログラム内容】  a.評価とはそもそも何であるか？  ・事前的評価、形成的評価、総括的評価、外在的評価等の理解  b.評価はなぜ必要なのか？  ・評価の目的と役割を理解する。  c.評価について専門学校教員に学んでほしい４つの大きな理由  ・一般の学校教員なら、養成課程や研修等で習得していく、授業づくりや学生の評価という基本的な知識・スキルを身に付けてほしい。  ・職業領域の専門家が多いために生じるメリットとデメリットを理解してほしい。  ・専門学校教育の自由度の高さ、基準の不明確さ、職業教育の難しさ、実習等の設計、教育増の設計等を身に付けてほしい。  ・専門学校教育の質保証・向上が政策的にも重視されている。教員の資質向上のための重要なポイントとして「評価」があることを理解してほしい。  ②ICT活用研修プログラム開発について（福田）  ・6校の聞き取り調査を実施。分野は次の7分野。作業療法学、パティシエ、ブライダル・ウェディング、自動車、看護、こども・福祉、音楽。  ・現場教員が個人で作成したものが成功していることや業者を入れて取り組んだ事例は中々進まないことが分かった。  ・事前に動画を作成するのではなく、授業の中で収録してフィードバック、復習に利用すると効果が出やすいことが分かった。  ・教材は、22日の第5回ICT活用研修WGにて具体化したものを共有予定。  ・事前学習動画は3セグメントに分けて開発。  ・それぞれのセグメントは5分程度の動画と10枚の静止画。  ・セミナーは12月20日、21日に御茶ノ水ソラシティにて実施予定。  ・参加者は事前学習動画を視聴したうえで受講してもらう。  ・1日目に実習を実施する事により興味をもってもらう。  ・目標は自身の授業で動画を作れるようになる事。研修後のアクションプランを作成して報告する様な課題を設ける。  ・受講者同士の相互評価を実施後、自身の振り返りを実施。1月末までに実際に授業で実施した内容のレポートを提出してもらう。  ③今後のスケジュール  ・1月25日　沖縄にて開催。　会場は大城委員にて準備する。 |

以上